

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第5号 令和3年7月21日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

夏休み



校長 堀田 稔

ここ苫小牧も「夏」を感じる日が多く増えてきました。いよいよ本日、今年の1週間少々の夏休みと違い、今まで通りの期間がある夏休みを迎えることができました。この夏、コロナ感染防止のため、以前ほど動き回することは難しいかもしれませんが、その中でも、できることを考え、小学生時代にしか体験できないことや夏休みの思い出を自分の心にいっぱい詰め込む夏休みにしてほしいと願っています。

～自然に学ぶ～

1学期のある日、私の下駄箱に「校長先生にあげたいお花があったので受け取ってください。」という手紙と花が入っていました。また、登校時にきれいな草花を見つけ手に持ってきて見せに来る子、テントウムシなどを見つけて持ってくる子、自分で考えた踊りを披露してくれる子ども等々、AIであったりコンピューターを生かしたゲームであったり、仮想空間や非現実的な物等が生活の中に入り、あふれる時代に「清水小学校の子ども達は、自然の豊かさや自然の仕組みなど、子どもの時代だから持つことができる感性を持ち、身の回りのことにちゃんと気づいて多くのことを学んでいる」と、嬉しさと同時に「ほっ」とした気持ちになりました。

～周りに学ぶ～

5月発行の学校だよりで、子ども達の玄関への入り方を記載させていただきましたが、待ってくれる高学年の姿を見続け、低学年でも順番を守り待つようになり、先に入ろうとしなくなったり、自分が待って他の人を先に通したりする態度を見せる子が多く見られるようになりました。やはり「子どもは周りの人の背中を見て育つ」「環境が人を育てる」を実感し、集団生活の中で大切なルールを身につけ始めていることがとても嬉しく思いました。周りの人々が行動で示し、それを習慣として続けることをこれからも大切にしていきたいと考えています。

子ども達は、コロナ感染症対策のため、学校や家庭で沢山のハードルを越えてきました。集団生活や学習、体験で負荷を克服するたびに心や体は成長しますが、同時に子ども達には感じづらい疲れもたまります。日頃できないことに挑戦するとともに、ゆったりとした時間の中に身を置くことで、心身をリフレッシュさせ、2学期に向けた新たなエネルギーを蓄えて欲しいと思っています。

2学期は8月17日（火）から始まります。休み中は、特に交通事故や水の事故、不審者に対する注意をお願いいたします。そして、子ども達が始業式の日には元気に登校してくれることを楽しみにしています。保護者・地域の皆様に今日までにいただきました多くのご理解、ご協力、そしてご参画に心より感謝申し上げます。1学期を終えるにあたっての挨拶とさせていただきます。子ども達と今しかできない時間の共有と笑顔あふれる素敵な夏休みをお過ごしください。